

# 取扱説明書

## RadiForce™ G21

モノクロ液晶モニター

電源などの差異がありますので、日本国内でのご購入、ご使用の際は、本書の日本語のページをご覧ください。  
その他の国、地域でのご購入、ご使用の際は、その他の言語のページをご覧ください。

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従ってください。

## 絵表示について







本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会(旧日本電子工業振興協会)の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン(PC-11-1988)に適合しております。

本装置は、平成 6 年 10 月 3 日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6 資公部 第 378 号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

Copyright© 2002-2003 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc.の登録商標です。


IBM、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

RadiForce、PowerManager は株式会社ナナオの商標です。EIZO、ScreenManager は株式会社ナナオの登録商標です。その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

# もくじ

 使用上の注意.....	4
第1章 はじめに.....	9
1-1. 特長.....	9
1-2. 梱包品の確認.....	9
1-3. 各部の名称.....	10
第2章 接続手順.....	12
2-1. 接続の前に.....	12
2-2. 縦型表示で使用する場合.....	13
2-3. 接続手順.....	14
2-4. 2台のコンピュータをつなぐ.....	16
第3章 ScreenManager.....	18
3-1. 操作方法.....	18
3-2. 機能一覧.....	19
3-3. 特殊機能.....	20
第4章 画面調整/設定.....	21
4-1. 画面調整.....	21
4-2. 低解像度の画面を表示した場合.....	26
4-3. 節電設定について.....	28
第5章 キャリブレーションをする.....	29
第6章 USB (Universal Serial Bus) の活用.....	32
第7章 アーム取付方法.....	34
第8章 故障かなと思ったら.....	36
第9章 お手入れ.....	40
第10章 仕様.....	41
第11章 用語集.....	46
アフターサービス.....	48

# ⚠ 使用上の注意

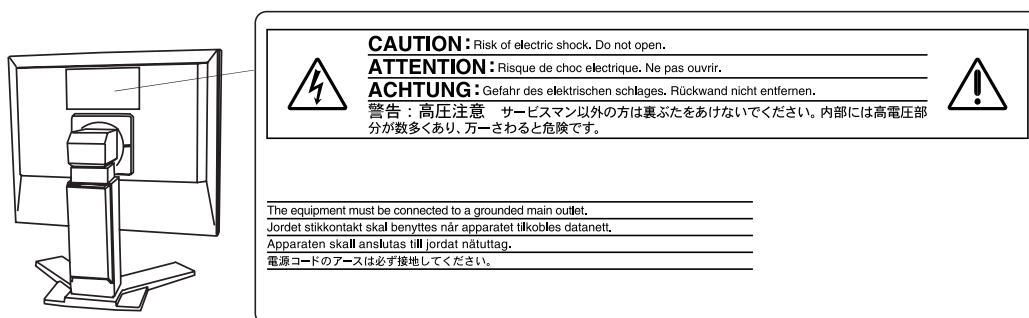
## 重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

### 【警告表示位置】



### 【本体に使われている記号】

記号	使われている場所	意味
○	上面	主電源スイッチ 本機の主電源をオフにします。
⏻	上面	主電源スイッチ 本機の主電源をオンにします。
⏻	前面 コントロールパネル	電源ボタン
~	背面 ネームプレート	交流
⚡	背面 ネームプレート	危険警告・感電
⚠	背面 ネームプレート	注意 取扱説明書内、「絵表示」参照

## 警告

**万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する**



そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

**裏ぶたを開けない、製品を改造しない**

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



**修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する**

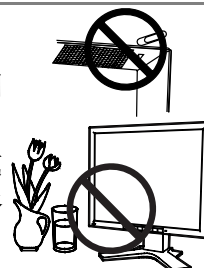
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



**異物を入れない、液体を置かない**

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、点検・修理のため販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



**丈夫で安定した場所に置く**

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

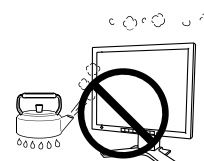
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



**次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 可燃性ガスのある環境。



**プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する**

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



## 警告

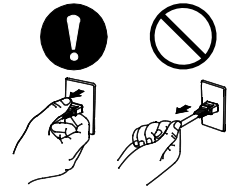
### 付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。  
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



### 電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

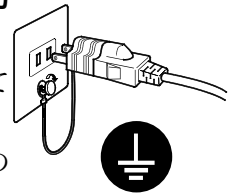
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



### 電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

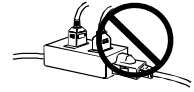
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



### 次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



### 電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



### 雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



### アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機スタンドを固定しているネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイザーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には、必ず同じネジを使用し、確実に固定してください。



## 警告

### 液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起す恐れがあります。



### ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。



## 注意

### 運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



### 本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

落したりするとけがや故障の原因となります。



### 通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



### 濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



### 電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



### 電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



## 注意

---

### クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



### 長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



---

## 液晶パネルについて

---

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つために、明るさは400cd/m<sup>2</sup>以下(出荷設定状態ブライツネス 約60%)でご使用ください。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管(バックライト)には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面表示を白い画面などに変更すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押ししたり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

---



# 第1章 はじめに

このたびは当社モノクロ液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
ごぞいます。

## 1-1. 特長

- 2系統信号入力搭載 (DVI-I/BNC 入力)
- DVI (p.46) デジタル入力 (TMDS (p.47)) 対応
- 表示解像度：2M ピクセル (1600 ドット×1200 ライン)  
水平周波数：31.5～130kHz (デジタル信号入力時 31.5～75kHz)  
垂直周波数：50～85Hz (デジタル信号入力時 60Hz、70Hz)
- カラー信号をモノクロ信号に変換表示
- オートアジャスト機能による容易な画面調整
- USB ハブ機能搭載 (p.32)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- スリムエッジ (狭額縁) 仕様
- 縦型表示信号 (1200 ドット×1600 ライン) 対応

## 1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

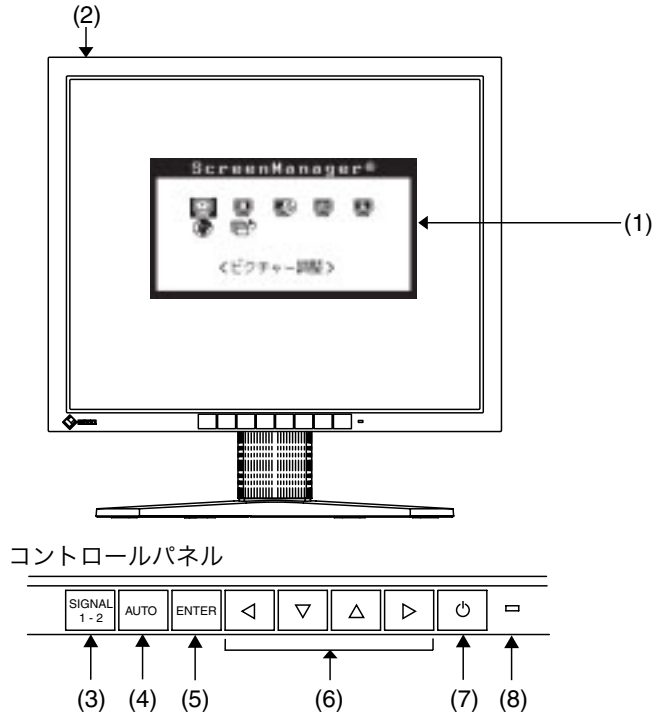
- モニター本体
- 電源コード
- 二芯アダプタ
- 信号ケーブル (FD-C16)
- 信号ケーブル (FD-C39)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

### 参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

## 1-3. 各部の名称

### 前面



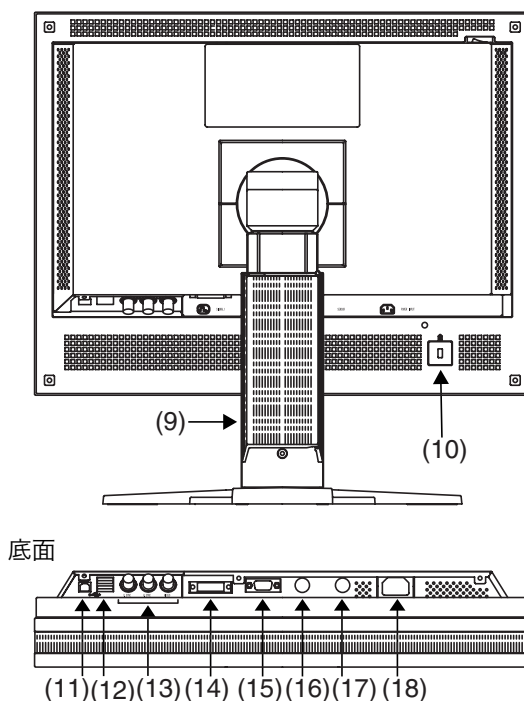
- (1) ScreenManager®
- (2) IO 主電源スイッチ
- (3) SIGNAL1-2 入力切り替えボタン
- (4) AUTO オートボタン
- (5) ENTER エンターボタン
- (6) ◀▽△▶ コントロールボタン (左・下・上・右※<sup>1</sup>)
- (7) ⏻ 電源ボタン
- (8) ☐ 電源ランプ※<sup>2</sup>

緑	オペレーションモード
オレンジ	節電モード
オレンジ 2 回点滅	節電モード (デジタル信号入力オフモード時)
オレンジゆっくり点滅	電源ボタンオフ状態 (主電源スイッチオン)
消灯	電源オフ


※<sup>1</sup> ScreenManager<その他>メニューの<設置方向>を「縦置き」に設定すると、下・右・左・上に変わります。

※<sup>2</sup> 画面表示時 (オペレーションモード) の電源ランプ (緑) を無灯にすることができません。(p.19参照)  
オフタイマー設定時の電源ランプ表示については p.20を参照してください。


## 背面



(9) 高さ調整機能付きスタンド<sup>※3</sup>


(10)  盗難防止用ロック<sup>※4</sup>


(11)  USB アップストリームポート (1ポート)

(12)  USB ダウンストリームポート (2ポート)

(13) V.SYNC / H.SYNC / VIDEO  
BNC 入力コネクタ(SIGNAL 1)

(14)  DVI-I 入力コネクタ(SIGNAL 2)

(15)  OUT シリアルポート・リモート OUT (D-Sub 9 pin) <sup>※5</sup>

(16)  IN シリアルポート・リモート IN (Mini DIN 6 pin) <sup>※5</sup>

(17) SENSOR シリアルポート・フォトセンサーコネクタ (Mini DIN 8 pin) <sup>※6</sup>

(18)  電源コネクタ

<sup>※3</sup> 本機は縦型表示に対応しています。(反時計回りに 90° 回転させることができます。) また、本機はスタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けることができます (p.34参照)。

<sup>※4</sup> 盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

<sup>※5</sup> キャリブレーションをする場合に使用します (p.29参照)。周辺機器の接続には使用できません。

<sup>※6</sup> キャリブレーション用コネクタです。本機専用キャリブレーションキットをお買い求めください (p.42参照)。

## 第2章 接続手順

### 2-1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に、下表を参照して、必ず本機で表示できる画面設定（解像度（p.46）、周波数）に変更しておいてください。

#### 参考

- DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。（DVI-I 入力コネクタ接続時のみ）

#### アナログ信号入力をする場合

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	～85 Hz	～240MHz	VGA, VESA, Apple Macintosh
720 × 400	70 Hz		VGA TEXT
800 × 600	～85 Hz		VESA
832 × 624	75 Hz		Apple Macintosh
1024 × 768	～85 Hz		VESA
1152 × 864	75 Hz		VESA
1152 × 870	75 Hz		Apple Macintosh
1152 × 900	～76 Hz		SUN WS
1280 × 960	60 Hz		VESA
1280 × 960	75 Hz		Apple Macintosh
1280 × 1024	67 Hz		SUN WS
1280 × 1024	～85 Hz		VESA
1600 × 1200	～85 Hz		VESA
1200 × 1600	～85 Hz		---

#### デジタル信号入力をする場合

下記解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	60 Hz	～162MHz	VGA
720 × 400	70 Hz		VGA Text
800 × 600	60 Hz		VESA
1024 × 768	60 Hz		VESA
1280 × 1024	60 Hz		VESA
1600 × 1200	60 Hz		VESA
1200 × 1600	60 Hz		---

## 2-2. 縦型表示で使用する場合

以下の設定をおこなうことで、表示する画面を適正な方向にします。

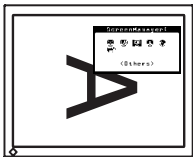
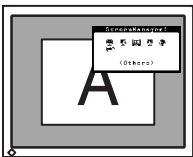
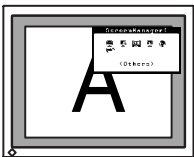

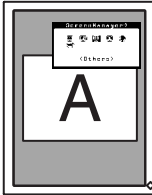
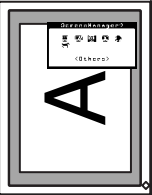
### 設定方法

1. モニターを反時計回りに 90° 回転させます。
2. ケーブル接続後、画面を表示します。
3. ScreenManager<その他>メニューより<設置方向>を選択し、「縦置き」に設定します。  
(ScreenManager の操作方法については、p.18を参照してください。)

#### 注意点

- 1200×1600 の解像度の場合は、自動的に適正な方向に回転しますので、ScreenManager メニューの向きを 90° 回転させるための設定となります。

#### [表示例]

解像度 設置方向	1200×1600	水平解像度が 1200 を超えない場合※1 (例：1024×768)	水平解像度が 1200 を超える場合※2 (例：1280×1024)
横置き			
縦置き			

※1 デジタル信号の場合、縦型表示はできません。

※2 縦型表示はできません。

#### 注意点

- <設置方向>を「縦置き」に設定すると、画面は「ノーマル」サイズ (p.26参照) での表示となります。

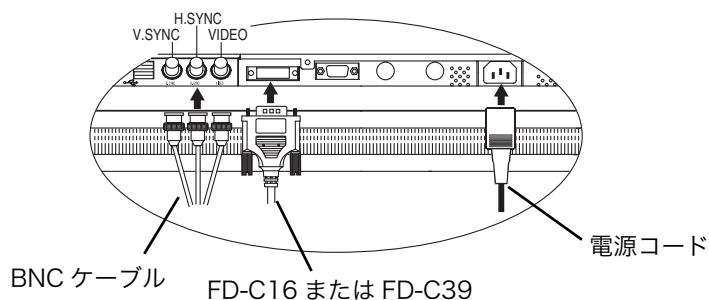
## 2-3. 接続手順

### 注意点

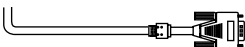
- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

### 1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



### アナログ信号を入力する場合

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル (付属 FD-C16) 	ビデオ出力コネクタ/ D-SUB15 ピン (ミニ)	アナロググラフィックスボード* <sup>1</sup>

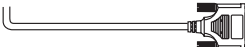
\*<sup>1</sup> 単色のモノクロ信号には対応していません。

### [BNC ケーブルをご使用の場合]

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル *BNC ケーブル	ビデオ出力コネクタ/ D-SUB15 ピン (ミニ) または BNC×3	モノクロアナロググラフィックスボード* <sup>1</sup>

\*<sup>1</sup> カラーグラフィックスボードには対応していません。

### デジタル信号を入力する場合

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル (付属 FD-C39) 	ビデオ出力コネクタ/ DVI コネクタ	モノクロデジタルグラフィックスボード* <sup>1</sup>

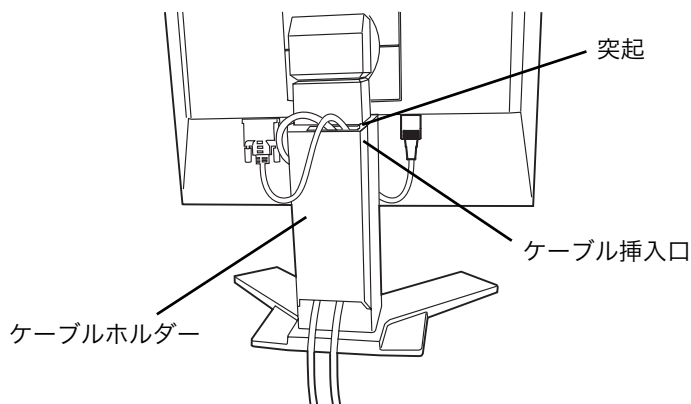
\*<sup>1</sup> ビデオ信号データは、TMDS DATA1 (Green) を表示します。  
カラーグラフィックスボードには対応していません。

## 2. 付属の電源コードを電源コネクタに接続します。

## 3. ケーブル類をケーブルホルダーに収納させます。

### 注意点

- ケーブル類をケーブルホルダーに収納する場合、またはケーブルホルダーから排出する場合は、ケーブルの挿入口の突起をつまんでケーブル挿入口を開閉させておこなってください。
- ケーブル類を収納する場合は、スタンドの昇降を考慮して、長さに多少の余裕をもたせてください。また、ケーブル挿入口側にケーブル類を引き回して収納させてください。



## 4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

### ⚠ 警告

#### 付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

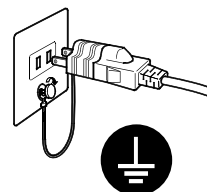
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



#### 電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



## 5. 電源を入れます。

モニターの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

電源点灯（緑）し、画面が表示されます。

電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第 8 章 故障かなと思ったら」(p.36) を参照してください。

使用後は、電源を切ってください。

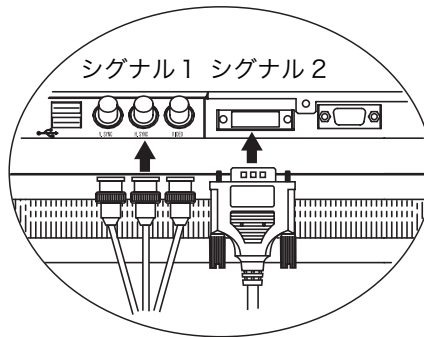
### 参考

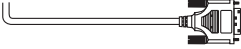
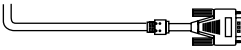
- 電源を入れると、画面右上に入力されている信号の種類（シグナル1または2/アナログまたはデジタル）がおよそ2秒間表示されます。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間のモニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

## 2-4. 2台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面のシグナル1、シグナル2コネクタに2台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

### 【接続例】



		コンピュータ 1		コンピュータ 2		
例 1	アナログ	D-Sub 15ピン(ミニ) または BNC×3	信号ケーブル *BNCケーブル	信号ケーブル (付属 FD-C39) 	DVI	デジタル
例 2	アナログ	D-Sub 15ピン(ミニ) または BNC×3	信号ケーブル *BNCケーブル	信号ケーブル (付属 FD-C16) 	D-Sub 15ピン (ミニ)	アナログ



## 入力信号の切り替え方法

コントロールパネルの入力切り替えボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（シグナル1または2／アナログまたはデジタル）が画面右上に2秒間表示されます。



### 入力信号の自動切り替え機能

本機は、コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。いずれかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的にもう一方の信号を表示します。

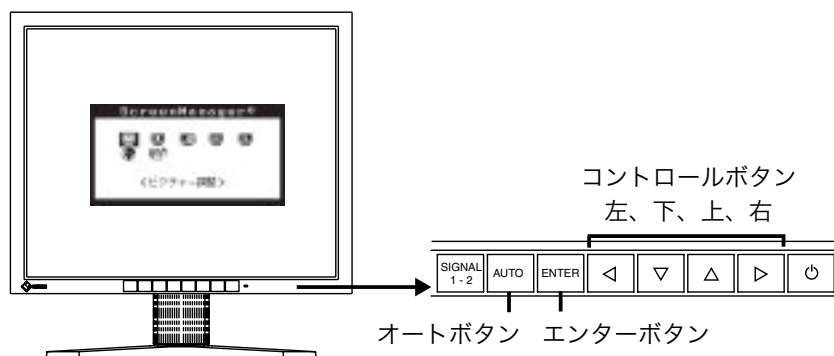
ScreenManager を使って、自動切り替えを解除することもできます。  
(ScreenManager の操作方法については、次ページを参照してください。)

#### [設定方法]

- (1) <その他>メニューの<入力選択>を選択します。
- (2) 「マニュアル」を選択します。

# 第 3 章 ScreenManager

## 3-1. 操作方法



### 1. メニューの表示

フロントパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。  
<メインメニュー>



### 2. 調整/設定

- (1) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目のサブメニューを表示します。
- (2) コントロールボタンで、調整/設定したい項目を選択し、エンターボタンを押して、選択した項目の調整/設定メニューを表示します。
- (3) コントロールボタンで調整/設定し、エンターボタンを押して確定します。

### 3. 終了

- (1) サブメニューより<リターン>を選択し（下ボタンを 2 回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、メインメニューに戻ります。
- (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し（下ボタンを 2 回押すと移動します。）、エンターボタンを押して、ScreenManager を終了します。

#### 参考

- エンターボタンをすばやく続けて 2 回押すと、どの調整画面からでも ScreenManager を終了させることができます。

## 3-2. 機能一覧

ScreenManager の調整、および設定項目一覧表です。

「\*」はアナログ信号入力のみ、「\*\*」はデジタル信号入力のみ機能です。

メインメニュー	サブメニュー		調整/設定内容	
ピクチャー調整	クロック	*	「4-1. 画面調整」(p.21) 参照	
	フェーズ	*		
	ポジション			
	解像度			
	レンジ調整	*		
	ブライトネス			
	スムージング			
	信号フィルタ	*		画像に見える影を補正する (p.37)
	ロック解除 <sup>※1</sup>		ロックを解除する (p.30)	
LUT 設定	デフォルト・ノーマル <sup>※2</sup> ・カスタム <sup>※3</sup>		LUT (ルックアップテーブル) (p.47) の設定を選択する	
PowerManager	VESA DPMS	*	「4-3. 節電設定について」(p.28) 参照	
	DVI DMPM	**		
その他	拡大モード		「4-2. 低解像度の画面を表示した場合」(p.26) 参照	
	ボーダー			
	入力選択		入力信号の自動切り替えを設定する (p.17)	
	オフタイマー		タイマー(使用時間)を設定する (p.20)	
	メニュー設定	サイズ		メニューサイズを拡大する
		ポジション		メニュー位置を移動する
		オフタイマー		メニュー表示時間を設定する
		半透明		メニューの透明度を設定する
	設置方向		モニターの設置方向を設定する (p.13)	
	ID <sup>※1</sup>		モニターの ID 番号 (1~4) を設定する (p.31)	
	電源ランプ		画面表示時の電源ランプ(緑)を無灯にする	
リセット		調整/設定状態をすべて初期設定に戻す (p.42)		
インフォメーション	インフォメーション		設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間 <sup>※4</sup> を確認できる	
言語選択	英語・日本語		ScreenManager の言語を選択する	

※1 キャリブレーション時に使用します。(p.29)

※2 パネル本来の特性で画面を表示したい場合に「ノーマル」を選択します。

※3 「カスタム」には、キャリブレーション後の設定値が自動的に保存されます。

※4 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

## 3-3. 特殊機能

### 調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ScreenManager による調整/設定</li> <li>● オートボタン</li> </ul>
ロックされない機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コントロールボタンによるブライトネス調整</li> <li>● 入力切り替えボタン</li> </ul>

#### ● 設定方法

フロントパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら電源を入れると、調整ロックがかかり画面が表示されます。

#### ● 解除方法

フロントパネルの電源ボタンを押していったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら再度電源を入れると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

### タイマー機能

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象 (p.46) を軽減させるための機能です。一日中同じ画面を表示させておくような場合にご利用ください。

#### [設定方法]

- (1) ScreenManager<その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
- (2) 「有効」を選択した後、モニターの使用時間 (1H~23H) を設定します。

#### [オフタイマーの流れ]

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間 (1H~23H)	オン	緑点灯
設定時間終了 15 分前	予告期間*	緑点滅
設定時間終了後	電源オフ	オレンジゆっくり点滅

\* 予告期間中にフロントパネルの電源ボタンを押すと、押した時点から 90 分延長することができます。延長は制限がなく何度でもできます。

#### [復帰方法]

フロントパネルの電源ボタンを押します。

#### **注意点**

- 節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

# 第 4 章 画面調整/設定

## 4-1. 画面調整

### 注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20 分以上経過してからおこなってください。(内部の電気部品の動作が安定するのに約 20 分かかります。)

デジタル信号入力の画面調整については、p.25を参照してください。

### アナログ信号入力の場合

液晶モニターの画像の調整とは、使用するシステムに合わせ、画像のちらつきを抑えたり画面位置や画面サイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager を使用して画像を調整していただくことをおすすめします。

### 調整手順

#### 1. フロントパネルのオートボタンを押します。

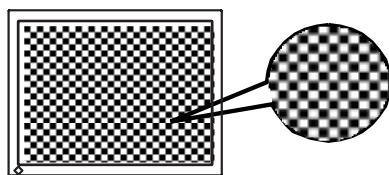
“もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます”のメッセージが 5 秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、自動調整機能が働き (動作中であることを示す画面が表示されます)、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。

### 注意点

- この機能は Macintosh や Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 4 にお進みください。


2. 画面に1ドット抜きのパターン(下記参照)などを表示して以下の手順に進んでください。

**参考**

- 「画像調整用プログラム」を使うとより確実な調整ができます。当社ホームページ(<http://www.eizo.co.jp/>)からダウンロードできます。

3. ScreenManager の<ピクチャー調整>メニューにより調整します。

- (1) 画面上に縦縞が出ている場合

→  クロック (p.46) を調整します。


<クロック>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。

調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2)フェーズ調整」にすみ調整をおこなってください。

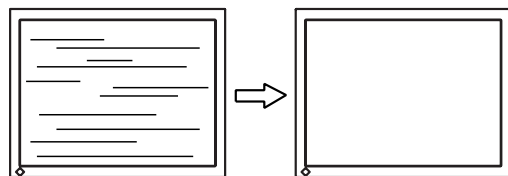
**注意点**

- クロックを調整すると、水平の画面サイズも変化します。

- (2) 画面全体がちらついたり、にじむように見える場合

→  フェーズ (p.46) を調整します。


<フェーズ>を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



**注意点**

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

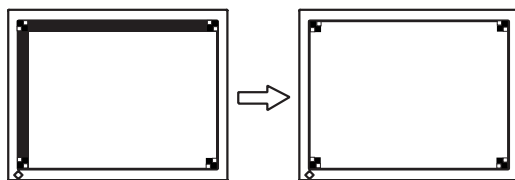
**(3) 画面の表示位置がずれている場合**


→  ポジションを調整します。

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画面を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像の左上とマーカーが合うように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

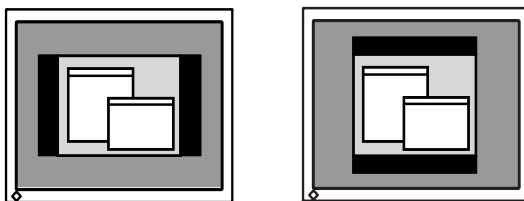
**(4) 余分な画像が表示されていたり、画面が切れている場合**

→  解像度を確認します。

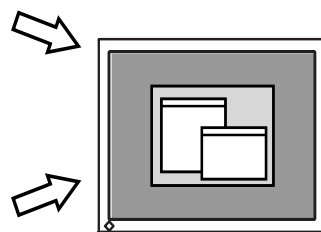
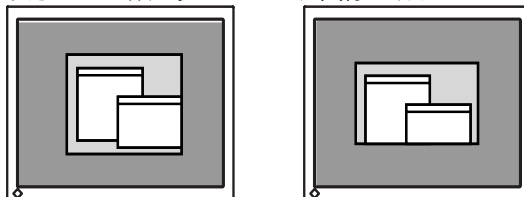
入力信号の解像度と、解像度の調整画面に表示されている解像度が異なる場合に調整します。

<解像度>を選択し、調整画面に表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように上・下のコントロールボタンで垂直方向の、左・右のコントロールボタンで水平方向の解像度を調整します。


表示ドット数が多いため、余分な画像が表示されている



表示ドット数が少ないため、画像が切れている



#### 4. 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。


→  <ピクチャー調整>メニューの<レンジ調整>（p.46）で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての階調（0～255）を表示できるように調整します。

##### [設定方法]

<ピクチャー調整>メニューより<レンジ調整>調整画面を表示させた状態で、フロントパネルのオートボタンを押します。自動的に調整され、最大の階調で画像を表示します。

#### 5. 明るさ（ブライトネス）を調整します。

→  <ブライトネス>で調整します。

バックライトの明るさを調整し、画面全体の明るさを好みの状態に調整します。<ブライトネス>を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。

##### 参考


- 直接コントロールボタンを押しても、ブライトネスの調整ができます。調整後はエンターボタンを押してください。



## デジタル信号入力の場合


デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。表示位置がずれていたり、画面が切れていたりする場合は、＜ピクチャー調整＞を使用して以下の調整をしてください。

### 1. 画面の表示位置がずれている場合

→  ＜ポジション＞を調整します。


調整方法については p.23 を参照ください。

### 2. 余分な画面が表示されていたり、画面が切れている場合

→  ＜解像度＞を確認します。

調整方法については p.23 を参照ください。

### 3. 明るさ（ブライトネス）を調整します。


→  ＜ブライトネス＞で調整します。

調整方法については p.24を参照ください。

## 4-2. 低解像度の画面を表示した場合

1600×1200 以外の解像度を表示した場合、＜その他＞メニューの＜拡大モード＞機能を使用して表示サイズの切り替えができます。

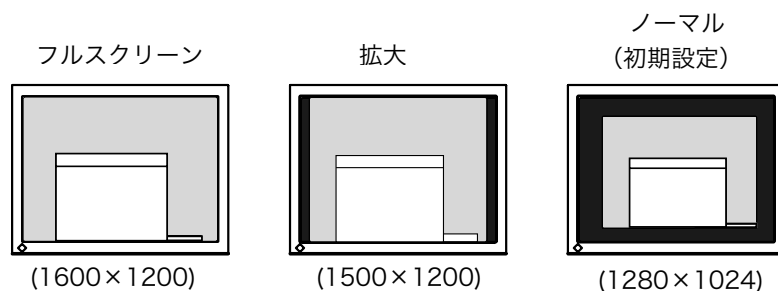
### 1. 画面の表示サイズを変更する場合

→  拡大モードで切り替えます。

＜その他＞メニューより＜拡大モード＞を選択し、上・下のコントロールボタンでモード（フルスクリーン／拡大／ノーマル）を選択します。

メニュー	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。


例：1280×1024 を表示した場合



#### 注意点

- ＜その他＞メニューの＜設置方向＞を「縦置き」に設定する（p.13参照）と、画面は「ノーマル」サイズでの表示となります。

## 2. 文字や線がぼやけてみえる場合

→  <スムージング>の設定を切り替えます。


低解像度を「フルスクリーン」、「拡大」モードにて表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

<ピクチャー調整>メニューより<スムージング>を選択し、1～5段階（ソフト～シャープ）からお好みに応じて選択します。

### 注意点

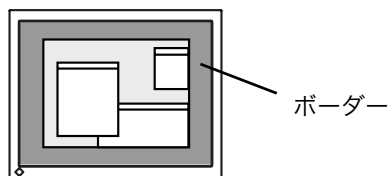
- <スムージング>アイコンは、以下の解像度では選択できません。
  - ・ 1600×1200の場合
  - ・ <拡大モード>で解像度を2倍に拡大した場合  
(例：800×600を1600×1200に拡大設定)

## 3. 画像の表示されない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合

→  <ボーダー>で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画面の周囲に画像の表示されない暗い部分が表示されます。

<その他>メニューより<ボーダー>を選択し、左・右のコントロールボタンで調整します。



## 4-3. 節電設定について

ScreenManager の<PowerManager>メニューで節電機能を設定できます。

### 注意点

- 完全な節電のためにはモニターの電源をオフすることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードに入っても、USB 機器が接続されている場合、USB 機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。

### アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS (p.47)」に準拠しています。

#### [設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより「VESA DPMS」を選択します。

#### [節電の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード	スタンバイ/サスペンド/オフ	節電モード	オレンジ

#### [復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

### デジタル信号入力の場合

本機は DVI DMPM (p.46) に準拠しています。

#### [設定方法]

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) <PowerManager>メニューより「DVI DMPM」を選択します。

#### [節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	緑
節電モード		節電モード	オレンジ
オフモード		節電モード <sup>*1</sup>	オレンジ点滅 (2 回ずつ)

<sup>\*1</sup> コンピュータのオフモードは入力選択機能が「マニュアル」に設定されている場合にのみ有効です。

#### [復帰方法]

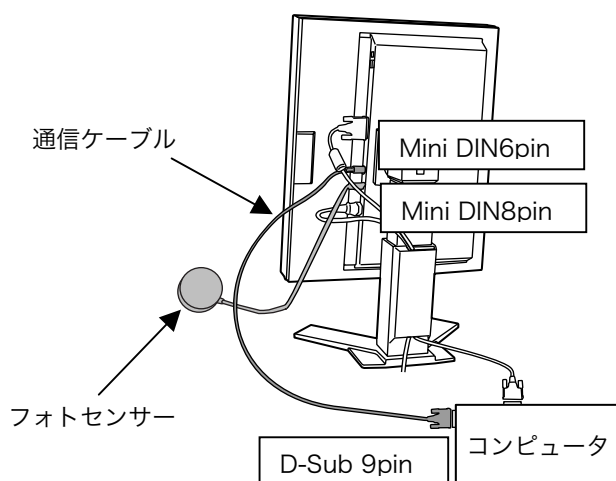
コンピュータ/節電モードからの復帰: キーボードまたはマウスを操作します。  
 コンピュータ/オフモードからの復帰: コンピュータの電源を入れます。

# 第5章 キャリブレーションをする

本機専用のキャリブレーションキット（オプション p.42参照）を使用して、モニターのキャリブレーションをすることができます。

## キャリブレーションキットの内容

- フォトセンサー×1
- 通信ケーブル×4
- キャリブレーション用ソフトウェア



1. グラフィックスボードに以下の設定項目がある場合、グラフィックスボードの取扱説明書を参照し設定します。
  - 階調設定を「リニア」または「スタティック・グレー」に設定する
  - アナログ信号の場合、「セットアップ」（黒レベルを少し浮かせる）を解除する
2. コンピュータのシリアルポート（D-Sub 9pin）とモニターのリモート IN コネクタ（Mini DIN 6pin）を通信ケーブルで接続します。
3. フォトセンサーコネクタ（Mini DIN 8pin）にフォトセンサーを接続します。
4. キャリブレーションソフトをインストールし、キャリブレーションをおこないます。  
使用方法については、キャリブレーションソフトの取扱説明書をお読みください。

**参考**

- 接続後は、通信ケーブルをケーブルホルダーに収納してください。(p.15参照)
- キャリブレーション中は、ブライトネスの調整はできません。
- キャリブレーションをおこなった後は、自動的に調整機能がロックされ、ブライトネスなどの調整ができません。ロックの解除方法は以下を参照してください。

## キャリブレーション後のロック解除機能

キャリブレーションをおこなった後は、自動的に調整機能がロックされ、ブライトネスなどの調整ができなくなります。

ScreenManager を使って、ロックを解除することができます。

ロックされる機能	<ul style="list-style-type: none"><li>● レンジ調整</li><li>● ブライトネス調整（コントロールボタンによる調整含む）</li><li>● LUT 設定</li></ul>
----------	---

**[解除方法]**

- (1) <ピクチャー調整>メニューの<ロック解除>を選択します。
- (2) 「ロック解除」を選択します。

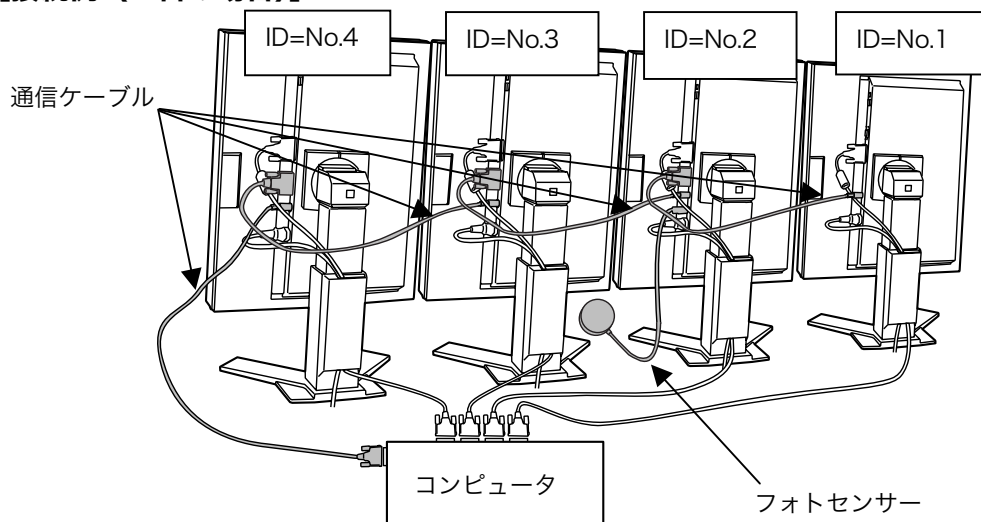
**注意点**

- <その他>メニューのリセット機能を実行すると、同時にロックも解除されます。

## 複数台のモニターを一度にキャリブレーションする場合

モニターを 4 台まで通信ケーブルで接続すると、同時にキャリブレーションができます。

### [接続例 (4 台の場合)]



1. コンピュータのシリアルポート (D-Sub 9pin) と 1 台目のモニターのリモート IN コネクタ (Mini DIN 6pin) を通信ケーブルで接続します。
2. 1 台目のモニターの OUT (D-Sub 9pin) コネクタと 2 台目のモニターの IN (Mini DIN 6pin) コネクタを通信ケーブルで接続します。
3. 同じように、2 台目と 3 台目、3 台目と 4 台目を接続します。
4. ScreenManager を使って、モニターの ID 番号を設定します。

#### [設定方法]

- (1) <その他>メニューの<ID>を選択します。
  - (2) ID 番号 (1~4) を選択します。(同じ ID 番号を設定しないでください。)
5. いずれかのモニターのフォトセンサーコネクタ (Mini DIN 8pin) にフォトセンサーを接続します。

# 第 6 章 USB (Universal Serial Bus) の活用

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

## 必要なシステム環境

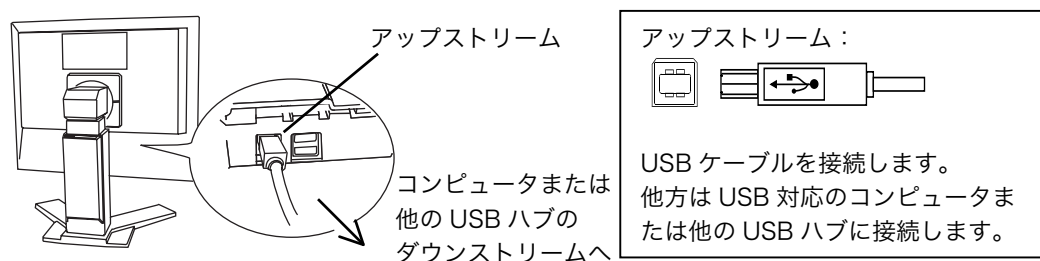
- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- USB ケーブル

### 注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機器は動作しません。
- モニターが節電モードの状態に入っても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。

## 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し (p.14参照)、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ (あるいは他の USB ハブ) のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。

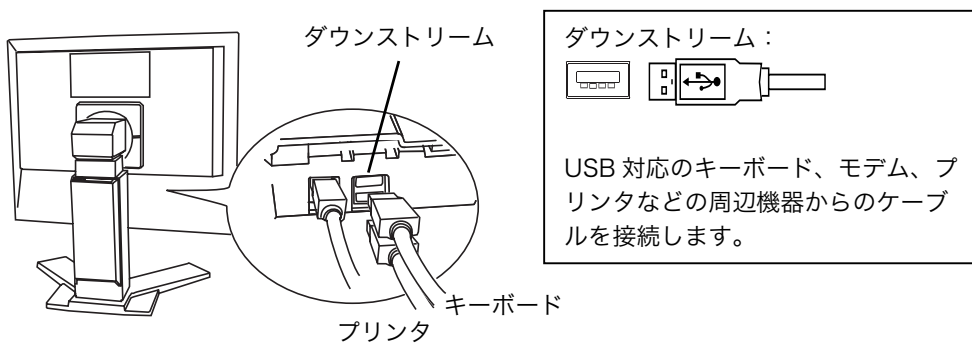
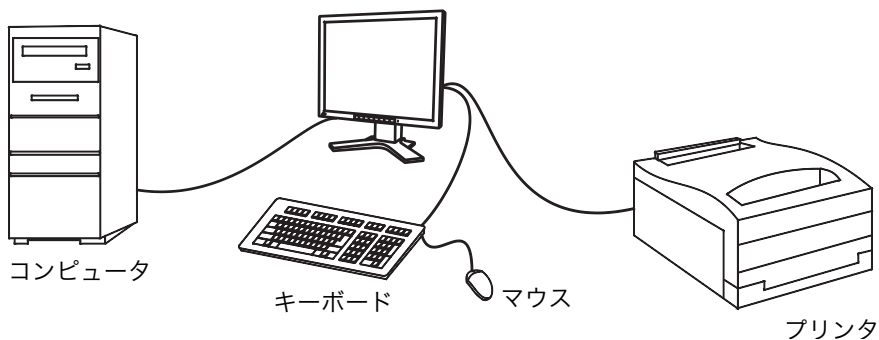


USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。



3. セットアップが完了すると、モニターがUSB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート (ダウンストリーム) に接続することができます。

**[接続例]**



# 第 7 章 アーム取付方法

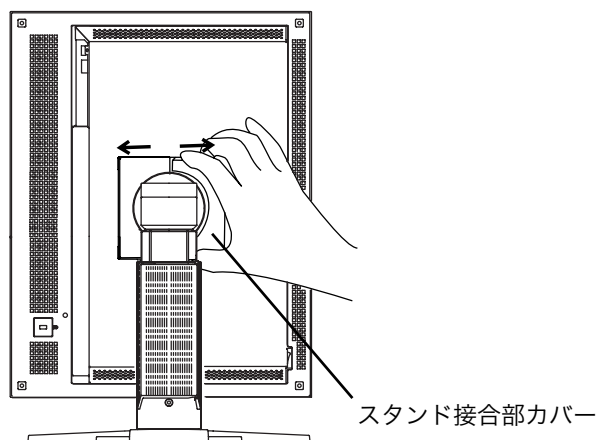
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アームあるいは別のスタンドに取り付けることが可能になります。

## 注意点

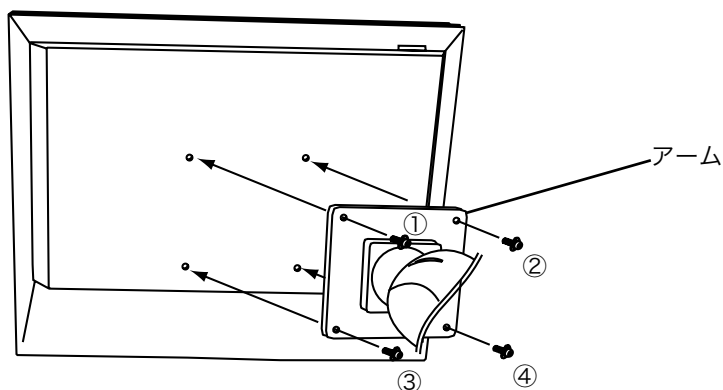
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100 mm x 100 mm（VESA 規格準拠）
  - 耐荷重：モニター本体（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総重量に耐えられること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

## 取付方法

1. モニターを反時計回りに 90° 回転させて、縦型にします。
2. スタンド接合部のカバーの中央部（上下）を押さえ、左右にスライドさせて取り外します。



3. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
4. スタンド部分を取り外します。(別途ドライバーを準備ください。)ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ(M4×10mm Ni/Fe : 4箇所)を取り外します。
5. モニターをアーム (またはスタンド) に取り付けます。





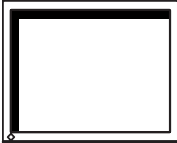
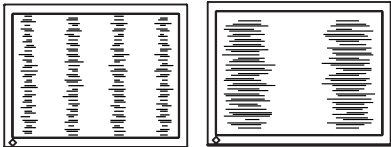

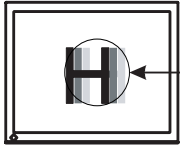
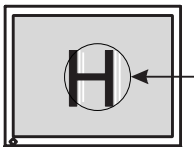
取り付け用ネジ : M4×10mm Ni/Fe : 4箇所



## 第 8 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3～13 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 14～17 を参照してください。
- USB に関する症状 → 項目 18、19 を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
<b>1. 画面が表示されない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ランプが点灯しない</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 電源コードが正しく差し込まれていますか。電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ランプが点灯：緑色</li> <li>● 電源ランプが点灯：オレンジ色</li> </ul>	<input type="checkbox"/> ブライツネスの設定を確認してみてください。 <input type="checkbox"/> 入力切り替えボタンで入力信号を切り替えてみてください。 <input type="checkbox"/> マウス、キーボードを操作してみてください。(→p.28参照) <input type="checkbox"/> 電源ボタンを押してみてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源ランプが点灯：オレンジ色 (ゆっくり点滅)</li> <li>● 電源ランプが点灯：オレンジ色 (2 回点滅)</li> </ul>	<input type="checkbox"/> コンピュータの電源を入れてみてください。
<b>2. 以下のような画面が表示される (この表示は約 40 秒間表示されます。)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 信号が入力されていない場合の表示です。</li> </ul> 	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <input type="checkbox"/> コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は点滅します。) 例 (デジタル信号)：</li> </ul> 	<input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
3. 画像の位置が適正でない 	<input type="checkbox"/> <ポジション>調整にて画像の左上を画面上のマーカーに合わせてください。(→p.23 参照) <input type="checkbox"/> ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4. 画像の一部が表示されない/余分な画像が表示される	<input type="checkbox"/> <解像度>で入力信号の解像度と解像度調整画面の解像度が合うように調整してください。(→p.23 参照)
5. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている 	<input type="checkbox"/> <クロック>で調整してみてください。(→p.22 参照)
6. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<input type="checkbox"/> <フェーズ>で調整してみてください。(→p.22 参照)
7. 文字がぼやけて見える	<input type="checkbox"/> <スムージング>で調整してみてください。(→p.26参照)
8. 画像に影が見える ● 画像が重なって見える 	<input type="checkbox"/> <ピクチャー調整>の<信号フィルタ>でフィルタ1のモードを切り替えてみてください。 <input type="checkbox"/> 一部のアナロググラフィックスボードでは、左図のような症状が見られる場合があります。
● 画像の右側に明るい線が見える 	<input type="checkbox"/> <ピクチャー調整>の<信号フィルタ>でフィルタ2のモードを切り替えてみてください。 <input type="checkbox"/> 一部のアナロググラフィックスボードでは、左図のような症状が見られる場合があります。

症状	チェックポイント/対処方法
9. 表示された画面の上部が下図のように歪む 	<input type="checkbox"/> コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
10. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<input type="checkbox"/> <ブライトネス>を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。) <input type="checkbox"/> 以下のような場合は、モノクロ表示には対応していません (画面が暗くなります)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● DVI-I コネクタ接続時： ご使用のアナロググラフィックスボードがモノクロ信号 (単色) を出力している場合</li> </ul>
11. 残像が現れる	<input type="checkbox"/> 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えた時に前の画面の残像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。 長時間同じ画面を表示するようなときには、タイマー機能の活用をおすすめします。(→p. 20 参照)
12. 画面に点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
13. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押しただあとが消えない	<input type="checkbox"/> 表示されている画面を白い画面に変更してみてください。症状が解消されることがあります。
14. ScreenManager において、<ピクチャー調整>の<スムージング>アイコンが選択できない	<input type="checkbox"/> 以下の解像度においては選択できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1600×1200 の場合</li> </ul> <input type="checkbox"/> <拡大モード>で解像度を 2 倍に拡大した場合は選択できません。(例：800×600 を 1600×1200 に拡大設定)
15. コントロールボタンを押すと、以下の画面が表示され、操作できない 	<input type="checkbox"/> キャリブレーションをおこなった後は、ブライトネス調整が自動的にロックされます。ロックの解除方法は p.30を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
16. ScreenManager のメインメニューが起動できない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 20参照)
17. オートボタンが正しく動作しない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(→p. 20参照) <input type="checkbox"/> この機能は Macintosh や Windows など、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作するものです。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
18. USB 機能のセットアップができない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。(各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。) <input type="checkbox"/> Windows 98/Me/2000/XP をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。)
19. コンピュータが動作しない/接続した周辺機器が動作しない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) <input type="checkbox"/> 次の動作を試してみてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータを再起動してみる</li> <li>● 直接コンピュータと周辺機器を接続してみる</li> </ul> モニター (USB ハブ) に接続しない状態で各機器が正常に動作する場合は、買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 <input type="checkbox"/> Apple USB キーボードを本機の USB ポートに接続した場合、キーボード上の電源ボタンは機能しません。キーボード上の電源ボタンを機能させるには直接コンピュータ本体と接続してください。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

## 第 9 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

### 注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

### キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

### 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

### 参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション）をご利用いただくことをおすすめします。

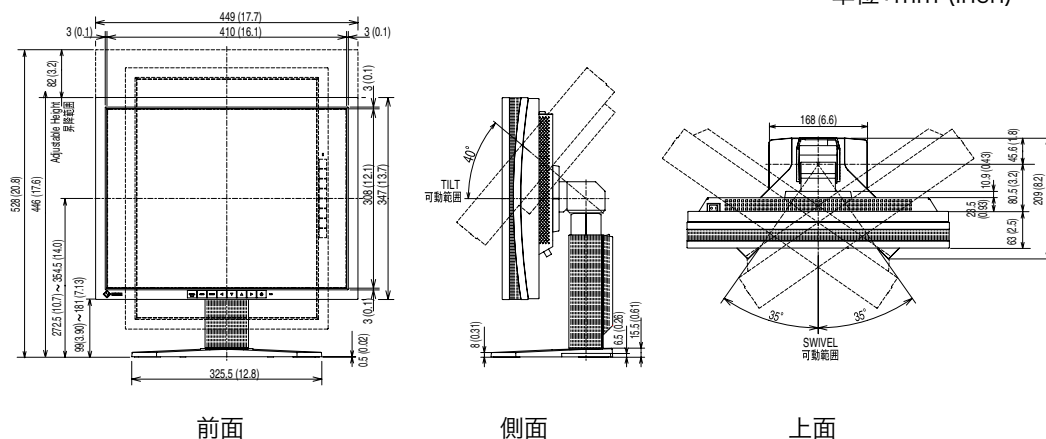


# 第 10 章 仕様

液晶パネル	51cm (20.1) 型モノクロ TFT アンチグレア、ハードコート 2H	
視野角	上下 170°、左右 170°	
ドットピッチ	0.255mm	
水平走査周波数	アナログ信号入力時：31.5~130kHz (自動追従) デジタル信号入力時：31.5~75kHz	
垂直走査周波数	アナログ信号入力時：50~85Hz (自動追従) デジタル信号入力時：60Hz (VGA TEXT 時：70Hz)	
解像度	2M ピクセル ● 横置き：1600 ドット×1200 ライン ● 縦置き：1200 ドット×1600 ライン	
ドットクロック (最大)	アナログ信号入力時：240MHz デジタル信号入力時：162MHz	
グレースケール	1531 階調中 256 階調表示	
表示サイズ (水平×垂直)	408.0mm×306.0mm	
電源	100VAC±10%、50/60Hz、0.7-0.4A	
消費電力	最小 (通常)：55W、最大：75W (USB 使用時) 節電モード：8W 以下 (USB 機器未接続時) 電源スイッチオフ時：0W	
信号入力コネクタ	DVI-I コネクタ×1、BNC コネクタ×3	
アナログ信号入力同期信号	a)セパレート、TTL、正/負極性	
	b)コンポジット、TTL、正/負極性	
	c)シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性	
アナログ信号入力映像信号	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
アナログ信号メモリー	55 種 (プリセット 33 種)	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B	
寸法 (本体)	449mm (幅) × 446~528mm (高さ) × 209mm (奥行き)	
寸法 (スタンドなし)	449mm (幅) × 347mm (高さ) × 86.5mm (奥行き)	
重量 (本体)	10.5kg	
重量 (スタンドなし)	7.3kg	
環境条件	温度	動作温度範囲：0°C~40°C 輸送および保存温度範囲：-20°C~60°C
	湿度	相対湿度範囲：30%~80% R.H. (非結露状態)
	気圧	860~1060hPa.
USB 規格	Rev. 1.1 準拠	
通信速度	12 Mbps (フルスピード)、1.5 Mbps (ロースピード)	
ダウンストリーム供給電流	最大 500 mA/1 ポート	
USB ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2	
適合規格	VCCI クラス A	

## ■外観寸法

単位：mm (inch)



## ■主な初期設定（工場出荷設定）値

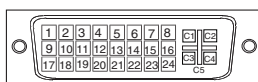
		アナログ信号入力時	デジタル信号入力時
スムージング		3	
PowerManager		VESA DPMS	DVI DMPM
拡大モード		ノーマル	
入力選択		オート	
オフタイマー		無効	
メニュー設定	サイズ	ノーマル	
	オフタイマー	45 秒	
設置方向		横置き	
ID		1	
言語選択		日本語	

## ■別売オプション品一覧

キャリブレーションキット	EIZO 「RadiForce Calibration Kit GX1」 (内容：フォトセンサー×1、通信ケーブル×4、キャリブレーション用ソフトウェア)
クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」

## ■入力信号接続

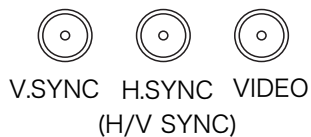
### ● DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data2-	11	TMDS Data1/3 Shield	21	NC
2	TMDS Data2+	12	NC	22	TMDS Clock shield
3	TMDS Data2/4 Shield	13	NC	23	TMDS Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	TMDS Clock-
5	NC	15	Ground (return for +5V, Hsync and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	TMDS Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	TMDS Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	TMDS Data1-	19	TMDS Data0/5 Shield	C5	Analog Ground (analog R,G,&B return)
10	TMDS Data1+	20	NC		

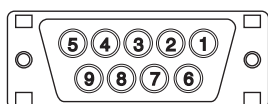
(\*NC: No Connection)

### ● BNC コネクタ



入力信号	V.SYNC	H.SYNC (H/V SYNC)	VIDEO
セパレートシンク	TTL 垂直同期	TTL 水平同期	ビデオ
コンポジットシンク		TTL コンポジット シンク	ビデオ
シンクオンビデオ			コンポジット シンク オンビデオ

### ● リモートアウトコネクタ (D-Sub 9pin コネクタ)



ピン No.	入力信号
1	NC*
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

(\*NC: No Connection)

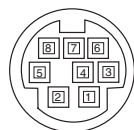
● リモートインコネクタ (Mini Din 6pin)



ピン No.	入力信号
1	NC*
2	NC
3	TXD
4	RXD
5	NC
6	GND

(\*NC: No Connection)

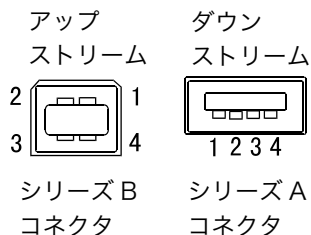
● フォトセンサーコネクタ (Mini Din 8pin)



ピン No.	入力信号
1	NC*
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC

(\*NC: No Connection)

● USBポート (USB Revision 1.1 による)



接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

## ■プリセット信号

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドットクロック	周波数		極性	
		水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
VGA 640×480@60Hz	25.2 MHz	31.47	59.94	負	負
VGA 720×400@70Hz	28.3 MHz	31.47	70.09	負	正
Macintosh 640×480@67Hz	30.2 MHz	35.00	66.67	負	負
Macintosh 832×624@75Hz	57.3 MHz	49.73	74.55	正	正
Macintosh 1152×870@75Hz	100.0 MHz	68.68	75.06	負	負
Macintosh 1280×960@75Hz	126.2 MHz	74.76	74.76	正	正
VESA 640×480@72Hz	31.5 MHz	37.86	72.81	負	負
VESA 640×480@75Hz	31.5 MHz	37.50	75.00	負	負
VESA 640×480@85Hz	36.0 MHz	43.27	85.01	負	負
VESA 800×600@56Hz	36.0 MHz	35.16	56.25	正	正
VESA 800×600@60Hz	40.0 MHz	37.88	60.32	正	正
VESA 800×600@72Hz	50.0 MHz	48.08	72.19	正	正
VESA 800×600@75Hz	49.5 MHz	46.88	75.00	正	正
VESA 800×600@85Hz	56.3 MHz	53.67	85.06	正	正
VESA 1024×768@60Hz	65.0 MHz	48.36	60.00	負	負
VESA 1024×768@70Hz	75.0 MHz	56.48	70.07	負	負
VESA 1024×768@75Hz	78.8 MHz	60.02	75.03	正	正
VESA 1024×768@85Hz	94.5 MHz	68.68	85.00	正	正
VESA 1152×864@75Hz	75.0 MHz	67.50	75.00	正	正
VESA 1280×960@60Hz	60.0 MHz	60.00	60.00	正	正
VESA 1280×1024@60Hz	108.0 MHz	63.98	60.02	正	正
VESA 1280×1024@75Hz	135.0 MHz	79.98	75.03	正	正
VESA 1600×1200@60Hz	162.0 MHz	75.00	60.00	正	正
VESA 1600×1200@65Hz	175.0 MHz	84.30	65.00	正	正
VESA 1600×1200@70Hz	189.0 MHz	87.30	70.00	正	正
VESA 1600×1200@75Hz	202.5 MHz	93.80	75.00	正	正
WS 1152×900@66Hz	94.2 MHz	61.97	66.14	コンポジットシンク、負	
WS 1152×900@76Hz	107.5 MHz	71.86	76.20	コンポジットシンク、負	
WS 1280×1024@67Hz	107.5 MHz	71.69	67.19	コンポジットシンク、負	
1200×1600@66Hz	186.1 MHz	109.77	66.33	負	負
1200×1600@69Hz	196.6 MHz	114.81	69.58	負	負
1200×1600@76Hz	212.1 MHz	123.92	75.19	正	正
1200×1600@76Hz	214.1 MHz	124.53	75.57	負	負

# 第 11 章 用語集

## 解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。EIZO G21 の場合は横 1600 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1600×1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい (1 対 1) に表示されます。

## クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

## 残像現象

同じ画面を長時間表示することによって、画面表示を変えたときに前の画面が残像として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。

## フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といい、クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことでクリアな画像が得られます。

## レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての階調 (0~255) を表示できるように調整します。

## DVI

(Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つ。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

## DVI DMPM

(DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のこと。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須となっています。

## LUT

(Look-up table)

グラフィックスボードからの入力データをモニターに出力するときに参照する補正データのことを指します。本機では、ルックアップテーブルを使って補正された「デフォルト※」と、パネル本来の特性で画面を表示する「ノーマル」を選択することができます。「カスタム」には、キャリブレーション後の設定値が自動的に保存されます。

※「デフォルト」はブライトネス 100%の表示で、DICOM 規格のグレースケールに調整されています。

## TMDS

(Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つ。

## VESA DPMS

(Video Electronics Standard Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネ化を実現させるため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

# アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。

## 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。
- お早めにユーザー登録されることをおすすめいたします。（登録方法については、保証書を参照してください。）

## 修理を依頼される時

- 保証期間中の場合  
保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合  
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

## 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）



**アフターサービスについてご不明の場合には**

最寄りの下記エイゾーサポートにお問い合わせください。

	TEL	FAX
<b>エイゾーサポート仙台</b> 〒984-0015 仙台市若林区卸町 4-3-9 バイパス斎喜ビル	(022)782-9770	(022)782-9771
<b>エイゾーサポート東京</b> 〒330-0834 さいたま市天沼町 1-76-1 沢田ビル	(048)642-7717	(048)642-5233
<b>エイゾーサポート厚木</b> 〒243-0021 厚木市岡田 3201 番地 シカシン 75 ビル	(046)229-7003	(046)229-7005
<b>エイゾーサポート名古屋</b> 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦第一生命ビル	(052)232-0151	(052)232-7705
<b>エイゾーサポート北陸</b> 〒924-8566 石川県松任市下柏野町 153 番地	(076)274-6260	(076)274-2416
<b>エイゾーサポート大阪</b> 〒660-0862 尼崎市開明町 2-11 神鋼建設ビル	(06)6414-3770	(06)6414-3771
<b>エイゾーサポート福岡</b> 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 3-6-11 福岡フコク生命ビル	(092)762-2170	(092)715-7781

※ 営業時間/月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日を除く）9:30～17:30

**廃棄およびリサイクルについて**

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出してください。
- 本製品は、法人ユーザー様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細についてはエイゾークイックコールセンターまでお問い合わせください。

**[エイゾークイックコールセンター]**

- 電話での問合せ受付  
（本社）TEL 076-274-2474  
（東京）TEL 03-5476-8220  
（大阪）TEL 06-6396-0357  
月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日を除く）10:00～17:00
- FAX での問合せ受付  
FAX 076-274-2416 24 時間  
但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）